# 環境活動レポート　2025 年度

(2025 年 4 月～2026 年 3 月まで)

2026 年　5 月 30 日

有限会社　小作物産

目　次

会社概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

事業の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

組織図　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

特記事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

廃棄物の流れ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

環境目標とその実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

環境方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

主な環境活動計画の内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容　　・・・・・・・・・・・１１

代表者による全体評価と見直し結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

環境関連法規への違反・訴訟等の有無　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

環境コミュニケーション　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

連絡窓口　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

※参照：2022～2026 年度目標値の算出　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

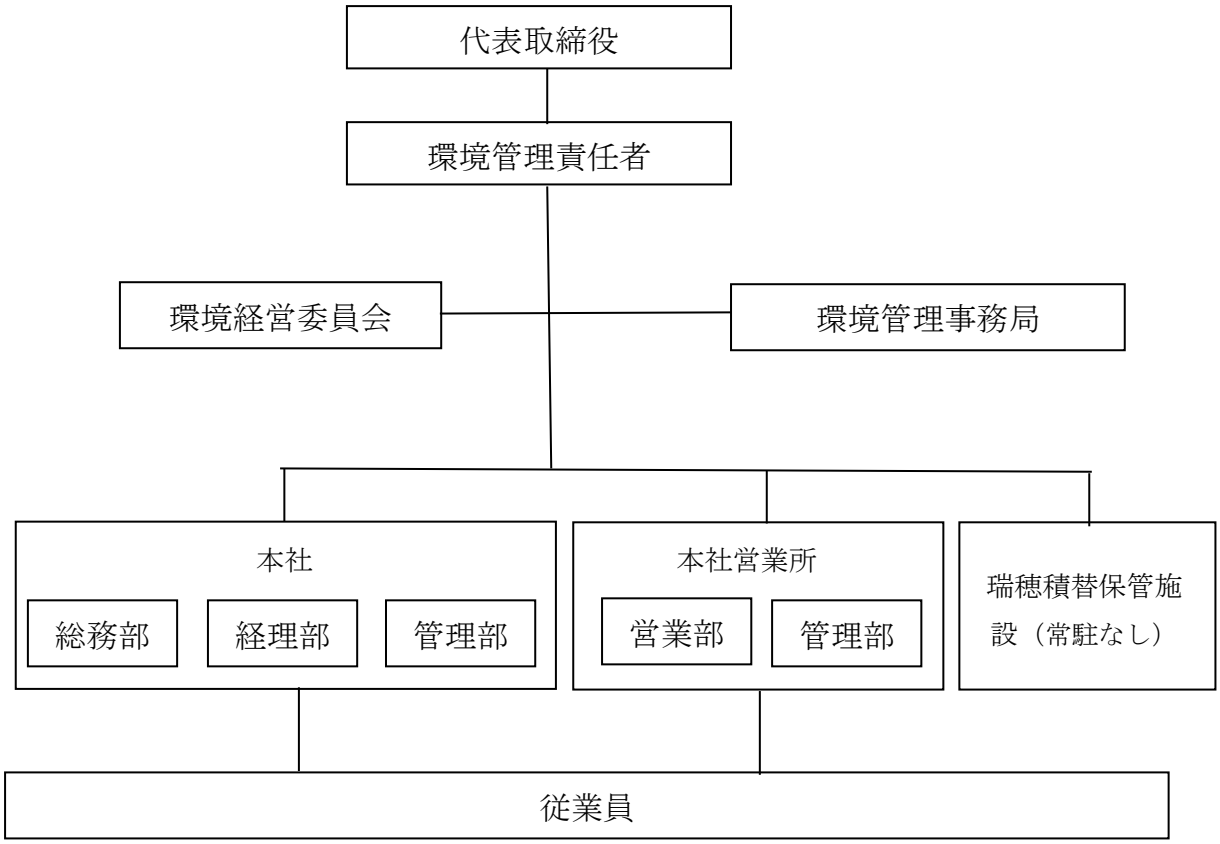
〈会社概要〉

| | | |
|---|---|---|
| 会社名 | | 有限会社　小作物産 |
| 法人設立年月日　　(創　業) | | １９６０年８月１日（昭和３５年） |
| 代表取締役 | | 小作　洋介 |
| 本社所在地　　（本社、本社営業所） | | 東京都羽村市羽加美３－５－２５ |
| 瑞穂積替え保管施設 | | 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎字武蔵野 930 |
| TEL/FAX | | 042-554-2332/ 042-554-2364 |
| メールアドレス | | mail@ozaku.co.jp |
| HP アドレス | | http://www.ozaku.co.jp |
| 管理責任者 | 環境管理責任者 | 小作　洋介 |
| | 本社部門責任者 | 小作　洋介 |
| | 本社営業所部門責任者 | 谷合　達也 |
| | 瑞穂積替保管施設部門責任者 | 小作　洋介 |

〈事業の概要〉

| | | |
|---|---|---|
| 事業内容 | | 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業 |
| 事業の規模 | 売上高 | 154 百万円(2024/7 月～2025/6 月) |
| | 従業員数 | ２０名 |
| | 延床面積 | ２１９．６$m^2$ |
| | 資本金 | ３００万円 |

〈環境システム組織図〉




## 実 施 体 制 （各員の役割、責任及び権限）

（1） 代表取締役

a) 「環境経営方針」（環境経営に関する方針）を定める

b) 環境経営管理責任者を任命する

c) 環境経営システムの実施及び管理に必要な経営資源（人員、設備、費用等）を準備する

d) 「環境経営目標一覧表」を承認する

e) 「環境経営活動レポート」を承認する

f) 環境経営システム全体の評価と見直しを実施し、必要な指示を環境経営管理責任者に行う

g) 経営における課題とチャンスの明確化

（2） 環境管理責任者

環境管理責任者は、代表取締役の 小作 洋介 とする

環境管理責任者は、当社の環境経営システムを構築・運用し、維持するため、他の職責に係わりなく次の役割、責任及び権限を有する

a) 環境経営方針の各部門責任者への伝達及び全社員への周知・徹底を指示する

b) 環境への負荷及び取組みのチェック結果の評価を行う
c) 環境経営目標の策定及び見直しをする
d) 「環境経営目標の一覧表」を審査する
e) 「環境関連法規等一覧表」および「環境経営活動計画」の策定及び見直しをする
f) 「環境経営活動計画」を承認し進捗管理を実施する
g) 環境経営委員会を主催する
h) 環境経営システムに関する各員の役割・責任・権限を各部門責任者へ伝達する
i) 社外からの環境に関する苦情や要望に対し必要な対応・回答を行う
j) 「環境経営活動レポート」を審査し社内外に公開する
k) 必要な手順書及び様式集を承認する
l) 「環境経営活動計画進捗管理表」を確認・評価し社長へ報告する
m) 「環境関連法規等遵守状況表」を確認・評価し社長へ報告する
n) 目標の達成状況、取組み状況に問題ある時は是正処置の実施を指示し、その結果を確認する
o) まだ問題とはなっていないが、将来的に問題が起こると予測される時は、予防措置の実施を指示し、その結果を確認する
p) 環境経営システム全体の見直しに必要な情報を社長に報告し、社長の指示を「代表者による見直し結果」に記録する
q) その他当社の環境経営システムを構築・運用し、維持するために必要な事項を実施する
r) 文書の見直しは毎年６月に責任者が行い、社長に報告し、社長が承認する

### （３） 部門責任者

部門責任者は、環境経営システムの構築・運用及び維持に関して、部門の統括者として以下のことを行う

a) 環境方針の部門内従業員へ周知・徹底する
b) 環境への負荷の自己チェックの実施及び見直しをする
c) 「環境関連法規等一覧表」の内容を関係者に伝達する
d) 「環境活動計画」に従った取組みを実施し必要な記録を作成する
e) 環境経営システムに関する役割・責任・権限を部門内従業員へ周知する
f) 教育・訓練を計画し実施する
g) 必要な手順書の作成及び見直しをする
h) 自部門で保管する環境記録を管理する
i) その他、自部門で環境経営システムを運用し維持するために必要な事項を実施する

### （４） 環境経営委員会

| | |
|---|---|
| ① 構成 | 代表取締役、環境経営管理責任者及び部門責任者<br>（主催は環境経営管理責任者とする） |
| ②開催頻度 | 原則として、毎年度４回<br>（９、１２、３、６月とする） |

| | |
|---|---|
| ③付議事項 | ｨ）環境経営目標及び環境活動計画の審議<br>ﾛ）環境経営目標及び環境活動計画の進捗状況の報告<br>ﾊ）環境経営システムの見直しに必要な情報の報告<br>ﾆ）その他、環境経営システムの構築・運用・維持に関する事項の協議 |
| ④欠席者フォロー | 議事録および資料等は欠席者に回覧 |

＊　議事録は専用の用紙を用いること。

（５）　全従業員

環境経営システムを理解し、環境方針及び環境目標を達成するために必要な取組みを実施する

## 役割・責任・権限の周知

１）環境経営管理責任者は、各部門責任者に周知する

２）各部門責任者は、部門内会議等において、自部門の従業員に周知する

〈特 記 事 項〉

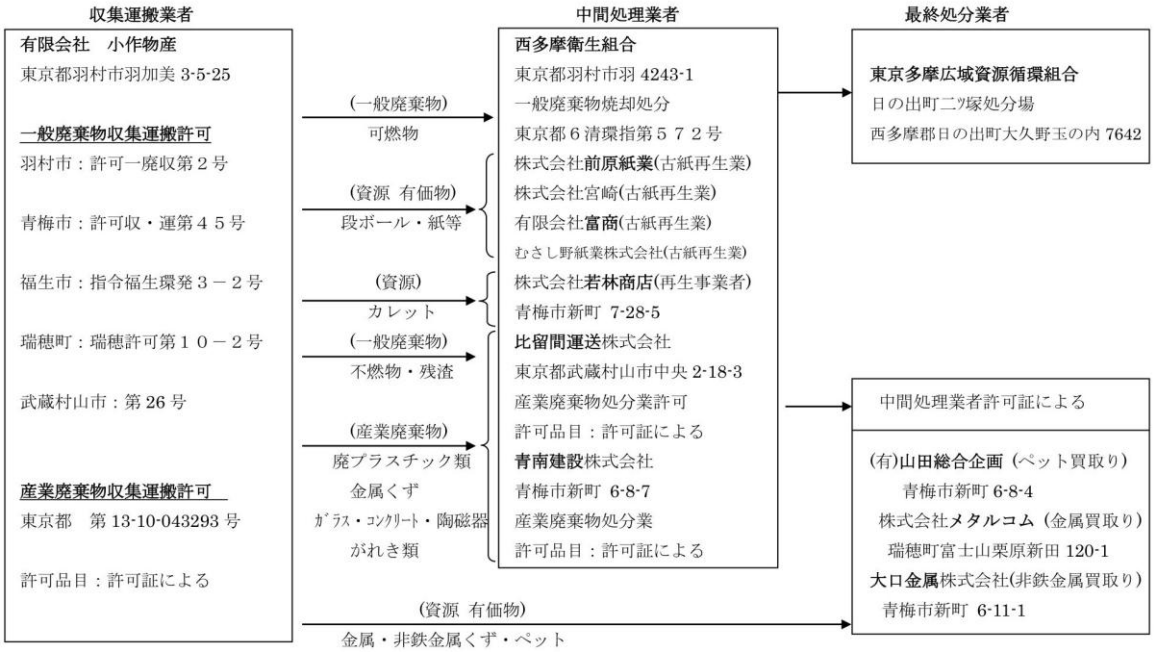
| | | |
|---|---|---|
| 一般廃棄物 | 羽村市・青梅市・福生市・瑞穂町・武蔵村山市 | |
| 産業廃棄物 | 東京都 | |
| | 許可番号<br>許可年月日<br>許可の有効年月日 | 第１３－１０－０４３２９３号<br>平成３０年１１月　８日<br>令和１２年１１月　７日 |
| | 事業計画の内容 | 都内の事業所・建設現場等で排出された廃棄物を処分業者へ収集運搬する。一部は自社保管積替えし、可能な限り再生利用を推進、また資源化・減量化を推進する事業を営むものである。 |
| | 許可品目　（収集運搬のみ）<br>１２種類　東京都 | 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず<br>ガラス･コンクリート・陶磁器くず<br>がれき類、汚泥、廃油、廃酸<br>廃アルカリ、動植物性残渣<br>(石綿含有産業廃棄物､水銀使用製品産業廃棄物を含む) |

| | | |
|---|---|---|
| | 許可品目：(収集運搬、保管積替え含む) ７種類 | 廃プラスチック類、紙くず<br>木くず、繊維くず、金属くず、がれき類<br>ガラス･コンクリート・陶磁器くず<br>(石綿含有産業廃棄物を除く)<br>(水銀使用製品産業廃棄物を含む) |
| | 埼玉県 | |
| | 許可番号<br>許可年月日<br>許可の有効年月日 | 第０１１０００４３２９３号<br>令和　６年　５月３１日<br>令和１１年　５月３０日 |
| | 許可品目　(収集運搬のみ)<br>１６種類　埼玉県 | 廃プラスチック類、紙くず、木くず、<br>繊維くず、金属くず<br>ガラス･コンクリート・陶磁器くず<br>がれき類、汚泥、廃油、廃酸<br>廃アルカリ、動植物性残渣<br>ゴムくず、燃え殻、ばいじん、鉱さい<br>(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む) |
| 運搬車両 | 種類と台数(2026.4.1)現在<br>【注 1】網掛け部は緑ナンバー<br>【注 2】全て「八王子」表示 | 800　あ　6601　パッカー車　3.0t<br>800　あ　6218　パッカー車　2.8t<br>800　あ　5934　パッカー車　2.8t<br>800　あ　4602　パッカー車　2.85t<br>800　あ　3491　パッカー車　2.5t<br>800　あ　3998　パッカー車　2.8t<br>800　あ　4188　パッカー車　2.85t<br>400　あ　9509　ダンプ車　2.0t<br>400　あ　9824　ダンプ車　2.0t<br>100　あ　2498　アームロール車　3.0t<br>100　あ　8052　平ボディ車　1.95t<br>100　あ　7673　平ボディ車　2.0t<br>400　あ　2045　平ボディ車　2.0t<br>400　あ　1623　平ボディ車　2.0t<br><br>480　い　1222　軽ダンプ車　0.35t<br>480　く　7104　軽ダンプ車　0.35t |
| 積替保管施設<br>(東京都) | 面積 | ５５１．１$m^2$ |
| | 保管上限量 | ２５．９$m^3$ |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 処理実績 | 受託した廃棄物(ton) | 種類 | 廃プラスチック類 | 93.17 |
| | | | 紙くず | 0 |
| | | | 木くず | 28.49 |
| | | | 繊維くず | 0.44 |
| | | | 金属くず | 67 |
| | | | ガラス･コンクリ・陶磁器くず | 18.7 |
| | | | がれき類 | 9.45 |
| | | | 動植物性残さ | 72.72 |
| | | 産業廃棄物 計 | | 289.97 |
| | | 一般廃棄物・資源物 | | 4837.65 |
| | | 合　計 | | 5127.62 |
| 廃棄物処理料金 | 一廃・産廃ともに | 別途見積による | | |

## 〈廃棄物の流れ〉

排出事業者からの代表的な廃棄物の流れを以下に示す



## 〈環境目標設定と実績〉

※１４ページに記載　「４年間の目標値と実績」

2022年度から東京電力へ算出方法変更

二酸化炭素排出量の４年間の推移

| 年度 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 |
|---|---|---|---|---|
| 排出量(kg-CO2) | 92256 | 92140 | 95942 | 94541 |

## 〈環境負荷の達成度〉

目標 4年間維持することとする

電力の二酸化炭素排出係数：0.442(kg-CO2/kWh)

対目標値に対する増減比較度合(%)
(この率には　項だけを使用)

110.7　↑ 未達

| 項目（実績）<br>削減率（%）　維持 | | 2025/4/1 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 2026/1 | 2 | 3 | 合計 | 目標 | 個別増減率 ↓（%） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全電力使用量 | kWh | 1399 | 927 | 832 | 776 | 893 | 989 | 840 | 1049 | 1293 | 1620 | 1860 | 1575 | 14053 | | 78.8 | ↓ 達成 |
| 目標値 | | 1946 | 1427 | 1304 | 1157 | 1170 | 1019 | 1136 | 1383 | 1376 | 2032 | 2195 | 1696 | | 17841 | | |
| 軽油 | ℓ | 2801 | 2626 | 2872 | 3018 | 2739 | 2871 | 2855 | 2417 | 2685 | 2421 | 2309 | 2681 | 32294 | | 100.5 | ↑ 未達 |
| 目標値 | | 2557 | 2759 | 2778 | 2852 | 3153 | 2833 | 2639 | 2633 | 2600 | 2480 | 2248 | 2604 | | 32135 | | |
| ガソリン | ℓ | 145 | 211 | 223 | 172 | 216 | 192 | 206 | 144 | 184 | 158 | 134 | 175 | 2160 | | 132.5 | ↑ 未達 |
| 目標値 | | 146 | 134 | 189 | 113 | 138 | 146 | 116 | 148 | 115 | 120 | 125 | 142 | | 1630 | | |
| 二酸化炭素 | kg-CO2 | 8182 | 7674 | 8295 | 8529 | 7962 | 8289 | 8216 | 7033 | 7925 | 7328 | 7090 | 8018 | 94541 | | 102.5 | ↑ 未達 |
| 目標値 | | 7558 | 7818 | 7934 | 7927 | 8771 | 7932 | 7414 | 7589 | 7454 | 7388 | 6883 | 7588 | | 92257 | | |
| 水使用量 | m3 | | 49 | | 32 | | 22 | | 26 | | 27 | | 24 | 180 | | 119.2 | ↑ 未達 |
| 目標値 | | | 25 | | 23 | | 24 | | 26 | | 27 | | 26 | | 151 | | |
| 自社廃棄物 | kg | 24 | 31 | 30 | 18 | 11 | 23 | 22 | 21 | 25 | 22 | 25 | 17 | 269 | | 110.4 | ↑ 未達 |
| 目標値 | | 20 | 23 | 28 | 24 | 29 | 15 | 19 | 11 | 21 | 23 | 13 | 19 | | 244 | | |
| 委託ゴミ取忘れ防止 | 件数 | 8 | 12 | 11 | 13 | 9 | 12 | 10 | 7 | 9 | 8 | 11 | 12 | 122 | | 84.7 | ↓ 達成 |
| 目標値(週 3回/月12回以下) | | 12 | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | | 144 | | |
| コピー用紙グリーン購入 | 枚数 | 120 | 640 | 120 | 510 | 430 | 120 | 620 | 640 | 120 | 640 | 140 | 570 | 4670 | | - | |
| 目標値 | | 100% | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | | 100% | | |
| 車両清掃の実施 | 回数 | 2 | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | 24 | | 100 | |
| 目標値(週0.5回/月 2回以上) | | 2 | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | | 24 | | |
| 隣接道路の清掃 | 回数 | 2 | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | 24 | | 100 | |
| 目標値(週 1回/月 2回以上) | | 2 | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | ← | | 24 | | |
| 低公害車への転換 | 0件 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 2 | | - | |
| 目標値 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 廃棄物処理量 | ton | 426.4 | 476.5 | 448.2 | 450.9 | 427.0 | 421.4 | 459.7 | 428.2 | 478.6 | 420.9 | 393.1 | 389.6 | | 5221 | | |

環境方針及び環境への負荷自己チェック結果を基に、最重要項目である主要エネルギー使用量（電気、ガソリン、軽油）による二酸化炭素排出量を主項目とし、自社廃棄物・上水使用量の２項目を加え この３項目を達成度判定基準とし、４年間で環境負荷の維持に取組んだ。 この重みの異なる３項目を分母に並べるのはやや偏っているのでは？と思う所もあるが、数値上捉えやすい項目としている。

昨年と同様に、エネルギーとは別に業務に密着する「委託ゴミ収集取忘れ防止」等を努力目標に掲げている。

環境目標設定値は 2020 年度３月締めを基にしている。

洗車は浅井戸水使用により循環水として排水量計上されない、データ把握は井戸水用メーターで実施している。

〈環境方針〉　2025.4.1 確認済み

有限会社　**小 作 物 産**

**エコアクション２１への環境経営方針について**

**基本理念**

有限会社小作物産は、一般廃棄物ならびに産業廃棄物の収集運搬業を通して、循環型社会・持続可能社会の構築に資することにつとめます。

**環境方針**

１．　環境経営システムを活用し、環境経営を積極的に推進し、環境負荷の継続的改善に努めます。
２．　当社に適用される環境関連の法規制等を遵守します。
３．　当社の一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬という事業の特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。

①　エネルギー使用を削減し、温暖化防止のために二酸化炭素の排出削減に努めます。
②　自社廃棄物の排出量の削減、リサイクルのための活動を行います。
③　節水を徹底し、排水量の削減に努め
④　グリーン購入につとめます。
⑤　周辺環境との調和を図り、清潔な会社を維持します。

４．　この環境経営システムの機能を有効にするために、社内の実施体制を確立し、全従業員への環境教育・啓発に努めます。
５．　この環境方針を実現するために、環境目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

２０２４年　４月　１日改定
有限会社　小作物産
代表取締役　小作 洋介
2024/05/01 確認済み

＜主要な環境活動計画の内容＞　エコドライブの推進　：①　不要なアイドリングの停止
②　タイヤ空気圧をチェック
（下表　注１）　③　不要な荷物は積まない
④　急発進・急加速をしない
⑤　エンジンブレーキを正しく使用
⑥　カーエアコンの収集作業中の停止
⑦　適切な配車により無駄な動きを減らす

| 環境活動項目 | 実施部門/責任者 | 活動計画の内容 | 進捗管理指標 |
|---|---|---|---|
| 電気使用量の削減 | 全サイト/<br>各部門担当<br>責任者・社長 | ・不要な照明（事務室、トイレ等不在時）の消灯の徹底<br>・OA 機器は使用時のみ電源を入れ待機電力は切る<br>・エアコン取替えと温度設定(暖房 20℃、冷房 28℃)<br>・タイム SW 取付け、貼紙の徹底 | 環境委員会の開催時に状況の把握を行う |
| 軽油使用量の削減 | | ・エコドライブの徹底（デジタコ装着による指導）<br>・G ｴｺﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ参加による運転者の意識向上<br>・無駄な走行をしないよう、させない様に意識啓発 | デジタコ安全管理表による指導及び G ｴｺﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの継続運用 |
| ガソリン使用量の削減 | | ・エコドライブ（注 1）の徹底 | |
| 上水使用量の削減 | | ・漏洩の定期チェック | 検量で確認 |
| 自社廃棄物<br>排出量の削減 | | ・廃棄物の発生抑制（両面ｺﾋﾟｰの実施、ﾐｽｺﾋﾟｰの削減、使用済み封筒の再利用、物を大事にする意識教育）<br>・分別を徹底し再資源化にまわす | 発生の都度記録を行うとともに状況を確認する |
| 委託ゴミ取忘れ防止 | | ・市から委託の収集作業に於ける取忘れを防止する（連絡を受けた件数をカウント、従って取忘れ範囲としては広がる） | 回数を設定 |

〈環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容〉

●達成できなかった項目：ガソリン、水、自社廃棄物、軽油、二酸化炭素
〇達成できた項目： 電気使用量、委託取り忘れ

環境活動計画書の増減率はトータルでは、 110.7%で未達成
増減率は、二酸化炭素排出量(電気・軽油・ガソリン)、上水使用量、自社廃棄物量に絞り、その他の努力項目は除外して計算している。そこまで大きな変化はない結果である。ガソリンの変動は運搬の方法や営業での移動が多いことが原因であるがこれは仕方がない
ごみの取り忘れは、傾向としては良い、新人も経験を積みその成果が出ている。軽油に関しては、仕事量が影響される。電気については達成できた。廃棄物の得意先の種類、運搬方法により軽油の使用量や数値に変動が毎年ある。状況を見ても妥当である。 水の使用については現状無駄な使い方をしているようには見えないが社内の清掃が増え使用頻度も上がったのだろう。目標設定の見直しをする
自社廃棄物は大きな変動なく人員の変動も影響するため様子をみることにする

去年から同様、近年人材不足と新人教育が問題となっている。

どうしても体力仕事なので難しい部分が多いがやっていくしかない
組織、役割を明確にし、より良い環境づくりをしていきたい。

当社は安全第一を基本とし、H18/3 月のデジタコ装着、H19/2 月のグリーンエコプロジェクト参画とドライブレコーダ装着等の施策により、「ドライバーが安全運転行うことで急の付かない運転をしてくれる。」従って燃費も向上するという穏やかな施策を継続しており、さらにオートマ車導入による安全対策も進めている。燃費が悪くなる方向ではあるが、基本方針に沿って努力していきたい。

| | |
|---|---|
| 二酸化炭素の排出削減<br>(エネルギー使用量) | 未達成<br>引き続き模索していく |
| 電気使用量の削減 | 達成 |
| 自社廃棄物の排出削減<br>リサイクルの推進 | 未達成　大きな変動はないため様子をみる<br>再利用や資源化に取り組む |
| 水使用量の削減 | 未達成　夏場の水まきや、清掃で使用した回数による結果 |
| 委託ゴミ収集取忘れ防止 | 達成<br>人の入れ替わりがあったが件数が減少し良い結果となった<br>事故防止上本項目は100%実施項目とし、カウントを注視するものとする。 |

主エネルギーである軽油削減に取組んでいるが取引先の変化があったものの、今年は未達成に終わった。これからも現状行っている施策を引き継いでいく。以下に取組を列記する。

| | |
|---|---|
| 軽油使用量の削減 | 新デジタコ取得データを活用して、急の付く動作を防止する。<br>安全運転を励行して、急の付く動作を防止する。<br>以上２点に関し、特に交差点での指導を随時行う。<br>無駄な動きをしない様に、エコ運転の研修を行う |

〈代表者による全体評価と見直しの結果〉

目標基準に対して今年は昨年より成果が多くみられた

昨年と同様 EA21 への取組みを意識づけていきたいと思っているがなかなか難しい。意識させることなく自然に行える環境作りをしていきたい。状況が変わり変化が激しいが、まずは安全第一とし、安全運転・安全作業・良い会社を通してエネルギー削減に取り組んでいきたい。

弊社の業務は基本あまり変動がないので毎年同じことを繰り返し周知すると共に
少しずつ会社全体で改善できることを模索していきたい。(話せる社員を増やすなど)

〈環境関連法規への違反・訴訟等の有無〉

廃棄物処理法・都民の健康と安全を確保する環境に関する条例・貨物自動車運送事業輸送安全規則・その他、環境関連法規制への違反はありません。なお、関係当局からの違反等の指摘は過去にありません。また訴訟についてもありません。

〈環境コミュニケーション〉

特に報告事項はありません。

〈連絡窓口〉

事業活動に関する概略は当社のホームページに記載を予定している。

http://www.ozaku.co.jp

また　EA２１事務局の環境活動レポートを公開している。

http://www.ea21.jp

当社の環境活動や本レポートへのご意見ご質問等がございましたら、〈会社概要〉に記載している本社部門責任者　小作 洋介宛にご連絡下さい。

| | |
|---|---|
| Tel | ０４２－５５４－５３２０ |
| Fax | ０４２－５５４－２３６４ |
| メール | mail@ozaku.co.jp |

※参照：2020 年～2024 年度目標値の算出

＜環境負荷の達成度チェック＞　@2022年度締めデータから、2023/4月以降の目標値の算出

| 項目 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電気 | kWh | 1946 | 1427 | 1304 | 1157 | 1170 | 1019 | 1136 | 1383 | 1376 | 2032 | 2195 | 1696 | 17841 |
| 軽油 | ℓ | 2557 | 2759 | 2778 | 2852 | 3153 | 2833 | 2639 | 2633 | 2600 | 2480 | 2248 | 2604 | 32136 |
| ガソリン | ℓ | 146 | 134 | 189 | 113 | 138 | 146 | 116 | 148 | 115 | 120 | 125 | 142 | 1632 |
| 二酸化炭素 | kg-CO2 | 7558 | 7818 | 7934 | 7927 | 8771 | 7932 | 7414 | 7589 | 7454 | 7388 | 6883 | 7588 | **92256** |
| 上水使用量 | m3 | | 25 | | 23 | | 24 | | 26 | | 27 | | 26 | 151 |
| 自社廃棄物 | kg | 20 | 23 | 28 | 24 | 29 | 15 | 19 | 11 | 21 | 23 | 13 | 19 | 245 |
| **廃棄物処理量** | ton | | | | | | | | | | | | | **5396** |

4年間の目標値設定
2023-2026
の計算根拠

改定：2024年 4月 6日

| 社長 | | 管理者 | | 事務 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 承認 | 小作 | 審査 | | 起草 | |

# 環 境 目 標 一 覧 表

| | 中期目標<br>目標設定項目 | 単位 | 2022年度の実績<br>（注記1） | 2023年度<br>環境目標 | 2024年度<br>環境目標 | 2025年度<br>環境目標 | 2026年度<br>環境目標 | 目標値<br>目標年度<br>2022～2025年<br>総計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ← | ← | ← | ← | |
| 1 | 二酸化炭素発生の削減 | kg-CO2 | 92,256 | 92,256 | 92,256 | 92,256 | 92,256 | 維持 |
| | | | 全部門 | 維持 | ← | ← | ← | |
| | 電気使用量の削減 | kWh | 17,841 | 17,841 | 17,841 | 17,841 | 17,841 | ↑ |
| | | | 全部門 | 維持 | ← | ← | ← | |
| | 軽油の削減 | リットル | 32,136 | 32,136 | 32,136 | 32,136 | 32,136 | ↑ |
| | | | 全部門 | 維持 | ← | ← | ← | |
| | ガソリンの削減 | リットル | 1,632 | 1,632 | 1,632 | 1,632 | 1,632 | ↑ |
| | | | 全部門 | 維持 | ← | ← | ← | |
| 2 | 上水使用量の削減 | ㎥ | 151 | 151 | 151 | 151 | 151 | ↑ |
| | | | 全部門 | 維持 | ← | ← | ← | |
| 3 | 自社廃棄物排出量の削減（一般廃棄物に関する） | kg | 244 | 244 | 244 | 244 | 244 | ↑ |
| | | | 全部門 | 維持 | ← | ← | ← | |
| 4 | 委託ゴミ取忘れ防止 | 回 | | 取り忘れ回数 | ← | ← | ← | 各設定年100% |
| | | | 全部門 | 週3回（月12回）以下 | ← | ← | ← | |
| 5 | 再生コピー用紙使用 | | | 再生枚数 | ← | ← | ← | ↑ |
| | （グリーン購入） | | 本社部門 | 使用枚数 | ← | ← | ← | |
| 6 | 車両清掃の実施 | 回数 | | 実施回数 | ← | ← | ← | ↑ |
| | | | 全部門 | 週0.5回（月 2 回）以上 | ← | ← | ← | |
| 7 | 隣接道路の清掃 | 回数 | | 実施回数 | ← | ← | ← | ↑ |
| | | | 全部門 | 週 1 回（月 2 回）以上 | ← | ← | ← | |
| 8 | 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮 | | | 提案実施 | ← | ← | ← | ↑ |
| | | | 本社部門 | 随時 | ← | ← | ← | |
| 9 | 各年の特定設定項目 | | | 低公害車への転換 | 未 | 未 | 未 | ↑ |
| | | | 本社部門 | （1台） | | | | |

（注記1）環境目標の電力使用量は2022年度より、弊社独自の基準から東京電力基準へ変更

・二酸化炭素排出量目標で達成度を評価する。電力使用量、軽油使用量、ガソリンし使用量は目標達成度の計算に含めない。

・目標項目⑤～⑦の「委託ゴミ取り忘れ防止」、「車両清掃の実施」、「隣接道路の清掃」に関し、目標件数は今後に渡り極度に低くしない。理由として、車事故防止の観点から作業員の緊張を強いる事による事故防止を揚げる

・目標項目④は「取忘れ」だが単に「取忘れ」に留まらず「後出し」・「勘違い」その他会社に連絡が入ったもの全てを網羅する事に注意及びこの目標値は現状より過大にしたくないためカウントはせず注視目標とする

・目標項目⑤は購入時に必ず再生紙であることを確認義務にしているので達成率に組込まない

・目標項目⑥-⑧は絶対に達成すべき項目と目論まず達成率計算には組み込まない

・目標項目⑨は各年単位で見直しており達成されるべきものとして達成率計算には組み込まない